

## 手 技

### 及川ふみ

#### 自然物のおもちや作り

秋には自然物を利用しておもちゃが、かすかす出来る。木の實、草の實などおもちゃになる材料が豊富にある。どんぐりの實、梧桐の實、菩提樹の實、じゆす玉、藤、梧桐の葉柄、すゝきの穂など手近にあつてよい材料である。どんぐり、じゆす玉など拾ひ集めるだけでも幼児たちを樂しませる事が出来る。どんぐりの實は形も種々あるが、コマなどに作るのにはどんぐり種類のものでもよい。ヒゴを二、三センチの長さにさして廻せばよく廻る。おかめどんぐりは形も大きくて、眞丸なので、こよりや、細いヒゴをさしこんで、手や、口にすると可愛らしいお土瓶になるし、おちよこはそのまゝでお茶碗になるから、おまゝごと遊びのお茶道具にすぐに役立つ。

菩提樹の實は高く投げるまプロペラの様にきりきり舞つて落ちて来て面白い。じゆす玉は頸かざり、腕輪などにつくるとよるこばれる。藤や梧桐の葉柄は、どんぐり、龜の子、げじげじ、などを作つて遊べる。梧桐の實は舟にして遊んでもよいし、又豆をとつて普通の豆や、ゴムの代用品として誠に重寶なものである。一年中の材料として澤山に落ちる季節に幼児たちと一緒に拾ひ集めておくとよい。これは古くなつてもどんぐりなどの様に蟲づくこともしなければかたくなる事もない。いつでも内部は錐や針でさせば

穴があく柔さでよい。

この他に土地によつて又異つたもので幼児たちのおもちやになる材料が澤山にある事であらう。たゞ自然物おもちゃの多くは保存しておいたり、ながくつとけて遊ぶことは出来がたいけれども材料も豊富なものであればくりかへし／＼作つて遊べてよい。

#### 紙仕事

##### 鶏小屋

古はがきを縦を二つ折りにして七センチにして、二枚になつてゐる方ははじから一センチのこして、はがきの横、九センチ幅を半センチづつに線をひく、(輪になつてゐる方はその端まで)二枚のはがきを同様に作る。線に沿つて鉄を入れて半センチづつの細い線に切りはなす。一本を前に、次の一本を後に又次の一本は前にといふ様に全部を前後に二つに分けて二つ折にすると挿圖の様な簡単な鶏小屋が出来る。二つの鶏小屋はつき合せて底の部分と背の方をはり合せる。左右の兩端には高さ五センチ位の簡単な扉をつけるとよい。

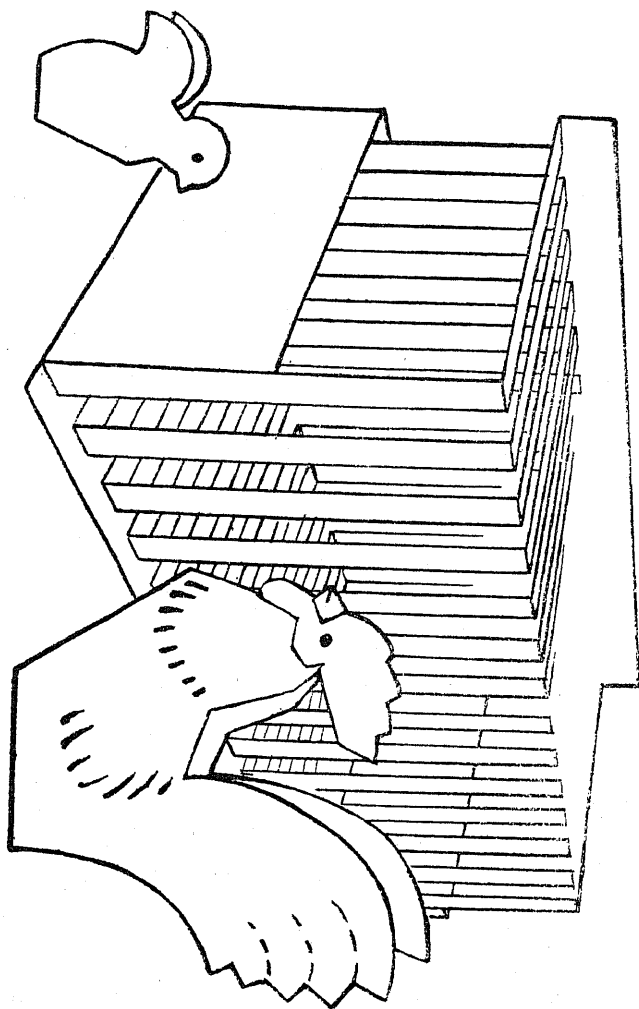
鶏は端書を二つ折にして胸のところを輪の部分で作つて二つに開いて鶏が立つ様につくる。ひよこの小箱などは端書を四つ割の大ききで箱の高さ一センチ位のものを作つて箱の下にすゝきの穂でもしいておくとよい。

別圖に鶏やひよこの略圖を示しておいたが幼児たちが自分で簡単に畫ければこれにこした事はないのであるがたゞ後で剪つて立體にするので輪になるところを作る事だけをよく指圖しておかなくてはならない。

果物皿

お皿

古はがき一枚をお皿に作る。最も簡単なのは四角い箱を作ればよいのであるがあまり簡単すぎるから四角を一寸工夫して角立ちのお皿を作る事にする。周囲を一センチの高さにて四角は角よ



り三センチのところを一センチの切りこみを入れて立てる。お皿は周囲を塗るなり内部をぬるなり任意でよい。

果物

柿、栗、枝豆、その他野菜類など幼児たちの好むまゝに何でもよいが出来ただけ立體的に作りたいところから前の鶏の様に一部

分、輪にしておく事に指導するとよい。

この果物皿はお月見のお供へ用として利用され、ばよい。

果物の種類も秋にはいろ／＼と数多いことでもあるから、お皿の形は同じでよいから、中に盛る果物や野菜は幼児たちに出る色々の種類のものをつくらせてお月様にお供へするものなど販にする事が出来る。

### 誘導保育

#### 菊池ふじの

#### 蟲の家

行水の捨所なき蟲の聲 鬼貫  
草むらも草むらも蟲の詫音哉 白雄

初秋の景物は草むらにすたく蟲である。目さとい子供等はどうかしてこの蟲を見逃しませう。長いお休みの間、幼稚園のお庭の留守番になつてゐた蟲は、幼稚園が始まると幼児達の、先づ最初の遊び相手になるのです。こう言つて見て、ふと、蟲影など、とも見られない街の中央にある幼稚園、又狭い園庭、園舎に大勢の幼児を收容して、このさし迫つてゐる現實の家庭の、否、國の必要に貴い奉仕をして居られる澤山の託児所のこと、又蟲どもが慰ふ暇をも與へない程に、第二學期始業の前日まで近所の子供達を託児して社會から感謝を受けて居られる幼稚園の事を思ふと、遂申譯ないといふ心持になつてしまふのですが。

夏休みには近所の友達と終日を楽しく遊び過して來ると見え、

一體が入園當時の新學期に戻るとは言へるのですけれど又遊びには入るのも大變に早く、第二學期が始まる早々、よく積木で蟲のお家をお砂場に拵へて私達を驚かすのが當です。又いろ／＼違つた蟲を捕へて來ますから、硝子の鉢などに草を入れて、子供等の捕へて來た蟲を飼つてやり、暫くの間にいゝから、この止み難い子供等の興味を満足してやり度いものです。この、秋の蟲の場合、春の毛蟲などのやうに、蝶や蛾への變態を見るときは連続せる觀察主題にもなりません。唯子供達の興味を興味が、それに多少の複雑性と活氣とを與へて、蟲への觀察を助けるといふ位のものでせう。強ひて誘導保育と名づくべき程のものでもないでせう。たとこの場合、愛撫が過ぎて慘刻にならぬやうに子供等の動きの上に細心の注意を向けることが肝要です。

繼續時間といふ程のことでも無いのですが、興味の山は一週間程が最高潮でせう。

期待効果は動物に對する愛撫、觀察の二つに盡きると思ひます。

#### お月見

同じ天體でも、烈々たる太陽に對しては畏敬と言つた様な強い感情が湧いて來ますが、瞬く星、牙え渡る月に對しては一種たとへやうのない露のある神秘に打たれるものです。

時正に大東亞海を席卷して、皇國の威武全世界に輝く時、お月見を機縁として天體の科學的觀察の初歩に導く位には必要でせう。殊に子供達の大好きな海戦から日本海軍の優秀さ、その艦船の動きには天體の觀測は絶対に必要なこと、例へば船艦は渺茫たる大洋の眞中で自分の位置を知つたり、進路や距離を測るには